

研修会報告書

平成30年2月26日

報告者 志賀 光法



研修の名称	生涯スポーツ・体力づくり全国会議2018
開催日時	平成30年 2月 2日 (金曜日) 10:00から 平成30年 2月 2日 (金曜日) 19:00まで
会場	広島県 広島市 グランドプリンスホテル広島
参加者	志賀、計1名

<p>・概要・内容・感想等</p> <p>全体テーマ：スポーツが変える。未来を創る。～Enjoy Sports,Enjoy Life～</p> <p>概要：</p> <p>① オープニング表彰式10:00～10:35</p> <p>文部科学大臣賞に七尾市健康まちづくり推進連絡会、白浜町、玖珠町の3組織 体力づくり国民会議議長賞に清川村、由良町、倉敷市愛育委員会連合会、ダイフ ク健康保険組合、外国運輸金融健康保険組合の5組織が受賞された</p> <p>② 全体会シンポジウム10:40～12:30</p> <p>テーマ：ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p> <p>～スポーツ立国の実現に向けて～</p> <p>コーディネーター：萩裕美子（東海大学体育学部教授）パネリスト：鈴木大地（ス ポーツ庁長官）、中村和彦（山梨大学教育学部長）、後山礼（株 博報堂）、佐藤康彦（熊本県南関町町長）</p> <p>分科会 第2分科会 14:00～17:00</p> <p>テーマ：全ての国民が生活の中でスポーツを豊かに楽しむための指導とは</p> <p>～オリンピック・パラリンピックレガシーとしての指導者の在り方を考える～</p> <p>コーディネーター：松尾哲矢（立教大学教授）、パネリスト：ヨーコゼッターランド （(公)日本体育協会指導者育成専門委員会委員長）福田和子（山口市スポーツ推 進委員）、河原塚達樹（(公)日本レクレーション協会常務理事）</p>

内容・感想

全体会（シンポジウム）テーマ：ライフステージに応じたスポーツ活動の推進～スポーツ立国の実現に向けて～

スポーツ庁の鈴木長官からは第2期スポーツ基本計画の説明があり、スポーツ概念を広げること、体操などやウォーキングをスポーツと認識していない人が多いので成人の週1回スポーツをする人の割合を増やしていく、それと、ビジネスパーソン向けに朝活、通勤時、夕活、ちょっとした時間を活用してスポーツ、健康・体力づくりの場に出



してくる。FUN WALK PROJECT に取り組んでいる。また、障がい者のスポーツ実施率の向上、総合型スポーツクラブの質的充実、スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域の活性化、一億総スポーツ社会の実現をめざしていると説明がありました。

山梨大学の中村教授からは幼児期の対応についてお話があり、身体運動の発達と認知的な発達、情緒・社会性の発達、この3つは生きる力となり、運動がこの3つの能力を伸ばすことが出来るので幼児期での様々な体験がその後の人生に持ち込まれるのでこの時期の運動・あそびが非常に重要となる。面白い運動、あそびを提供することが大切であるが何時までも大人がいてはだめ、子どもに考えさせながら子どもに任せることが重要。

博報堂の後山氏からは、みんなが体を動かす健康な国へむけて、ビジネスパーソン向けに、特に20～40台をターゲットに土台となる活動、スポーツをあまりしていない人たちが新たに始めなくても、ハードルの低い運動、歩くことから運動化に導く FUN+WALK プロジェクトを立ち上げ、スーツやバッグ、シューズまでスタイルから提案してあることでグルメ、仕事、音楽、ファッション、デート、美容、ショッピング、写真、旅行、アート、イベント、自然、それぞれを歩く、WALK と合わせて効果をあげようとするもので、スマホアプリを提供し、歩くことでポイントがたまり利用可能な豊富なクーポンとして受け取れる。また、ご当地キャラを活用してゲーム機能を搭載され、歩数によりキャラクターが太ったり、痩せたりするというもので、現在ダウンロード可能となっています。

南関町の佐藤町長からは高齢者のスポーツ参加促進方策についてお話があり、2市4町で南関モデル『元気づくりシステム』健康の駅を設置しいつでも！どこでも！だれでも！参加型へ町民が主役の『元気づくり』として、元気づくり体験として集会所コースを1コース、リーダーコース48地区、拠点コース4か所、健康の駅コース（交流センター～ゆるっと～）で高齢者の元気づくりに取り組んでおられる。

第2分科会：全ての国民が生活の中でスポーツを豊かに楽しむための指導とは
コーディネーターは宇部市にもお越しいただいた立教大学の松尾教授でした。

ヨーコゼッターランドさんからは日体協の指導者育成を取り巻く状況、新しい時代にふさわしいコーチング、グッドコーチに求められる資質能力についてお話があり日体協の公認スポーツ指導者育成の基本方針が改定されプレーヤーズファーストのもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に学び続けてスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる人材育成していく方針であると言われました。

山口県スポーツ推進委員でスポーツレクリエーション指導者の福田和子さんからは山口市、阿知須でのスポーツ、健康・体力づくりについての課題や今後の対応として、地域でスポーツ推進における指導者の在り方、また、宇部市の西が丘自治会で実施した『健康スポレクひろば』高齢者対象の健康づくり事業の紹介、そしてニュースポーツのラダーゲッターの紹介もありました。



公益財団法人日本レクリエーション協会の河原塚常務理事さんからは高齢者の体力づくり支援事業での課題として運動未実施者の参加率が低いこと、参加募集において一番来てほしい運動未実施者に届かないことをあげられ、事業紹介では、まず自分の方らを意識していただく体チェックを実施し体の動かしかたで変わる効果を実感してもらうことが大事で次にそれがつながっていく。ただ、高齢者といっても65才・75才・85才を一つの塊にはできない、それぞれの体力・個々の身体状況に合わせた対応が必要となるとお話されました。

以上